

一般国道158号（大野市上半原地係）の斜面崩壊に関する  
第1回対策検討会 結果概要

- 1 日時 令和7年3月28日（金） 13:30～14:50
- 2 場所 県庁2階 中会議室
- 3 出席者 <委員>
- 荒井 克彦 （福井大学 名誉教授）
- 桑原 正明 （国土技術政策総合研究所 道路構造物  
研究部道路基盤研究室 室長）
- 浅井 健一 （土木研究所 地質・地盤グループ地質チーム  
上席研究員）
- 伊藤 征毅 （国土交通省 近畿地方整備局福井河川国道事務所  
副所長）
- 三田村 佳紀（福井県 土木部 副部長）
- 室田 正雄（福井県 奥越土木事務所 技術次長）（所長代理）

4 議題

- ・斜面崩壊の発生機構（メカニズム）について
- ・応急対策の方針について
- ・今後の調査、モニタリングの方針について
- ・今後のスケジュールについて

5 結果概要

- ・斜面崩壊の発生メカニズムについて、崩壊箇所は地下水が集まりやすい凹地地形であったため、融雪により地下水が上昇し、斜面下段での小規模な表層崩壊が発生した。これにより斜面の下部や側面の支えを失ったことによつて、斜面全体の大規模な崩落が発生した可能性が高いことが確認された。
- ・今後の斜面調査やモニタリングの実施については提案された方向性で妥当である。
- ・夏休み前までの開通を目指して、河川左岸側（中部縦貫自動車道事業用地を含む）に仮設道路（迂回路）を設置し、仮橋2橋を含む盛土構造案とすることについては妥当であると考えられる。
- ・仮橋2橋については、国が保有する応急組立橋の活用を踏まえた検討を実施していくことについて確認された。
- ・本復旧については、ボーリング調査などの斜面調査の結果を踏まえ、対策を検討することとされた。
- ・今後のスケジュールについて、本復旧に向けた対策を検討のうえ、次回検討会を開催することで了承された。

以上

# 一般国道158号（大野市上半原地係）の斜面崩壊に伴う仮設道路の設置について

イ メ ー ジ 図

一般国道158号は、大野市と岐阜県郡上市を結ぶ緊急輸送道路である。今回の斜面崩壊により、通行不能となっており、周辺に迂回路がないため、早急に仮設道路（迂回路）の設置を行う。  
(交通量：約2,800台/日 (R5.11))





写真 1. 第 1 回対策検討会 開催状況